

# 笑顔のもののさし

知っておきたい お家に関わるいろんな数値





# 笑顔のものをさし



## 1. 健康と快適のものをさし …1

お部屋の温度	… 2
温度差の危険性	… 4
断熱と気密の話	… 5
断熱＝健康	… 8
断熱材徹底比較	… 9

## 2. 安心と安全のものをさし …10

山陰の地震	… 10
耐震性能の等級	… 11
地震対策の方法	… 12

# 1.

## 健康と快適のものさし

家族を守る

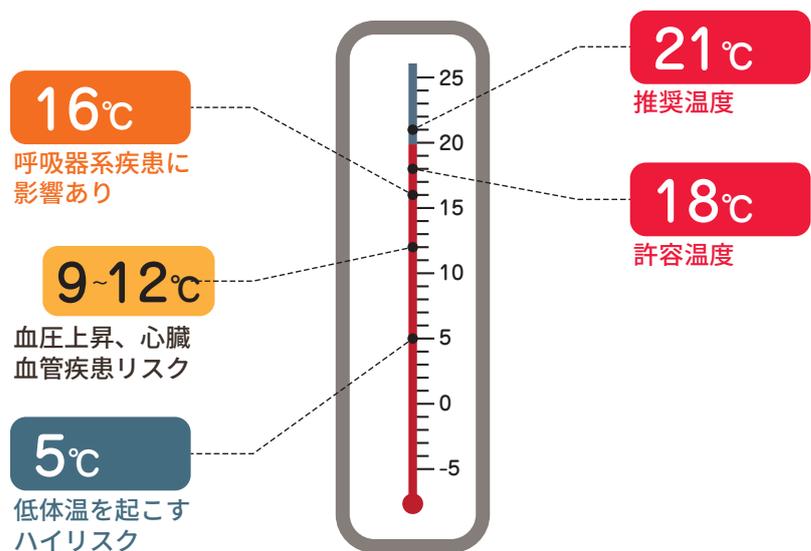
お家の快適な温度って？



## が、西浦建築のおすすめ

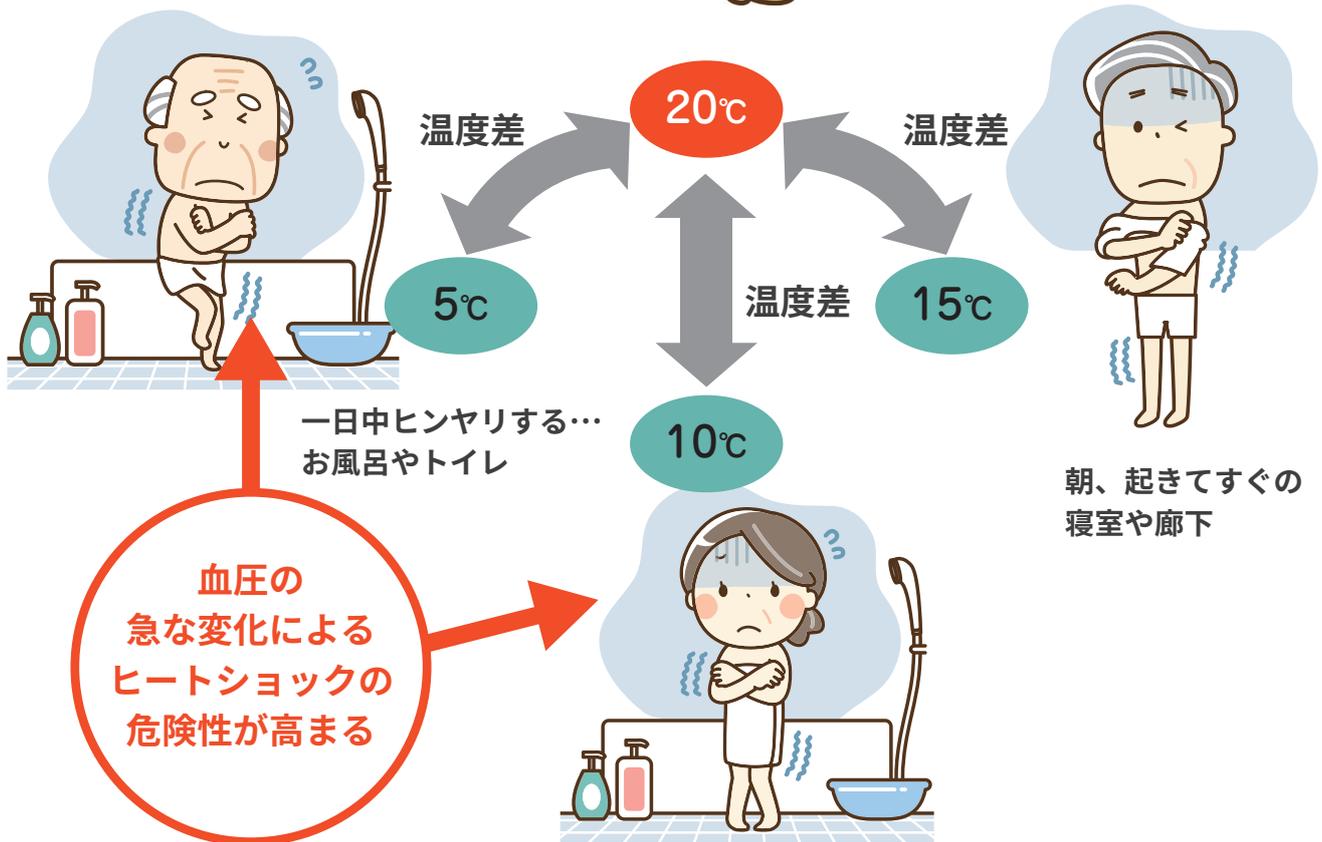
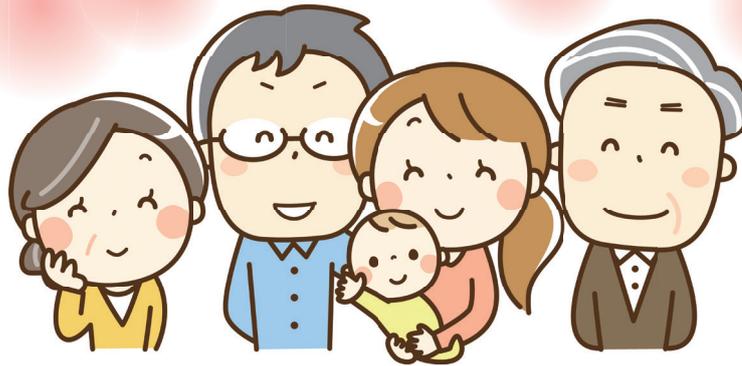
部屋の温度が18°C未満になると、呼吸器系や循環器系などの疾患リスクが高まると言われています。

健康を保つ部屋のおすすめ温度は21°C、少なくとも18°C以上にすると、疾患のリスクが減少します。



# お部屋ごとの 温度差の危険性

快適な温度のリビング、  
一歩お部屋を出ると急激な温度の変化を  
感じることはありませんか？  
このお部屋ごとの温度差には、  
身体をおびやかす危険がいっぱいなのです。



だから大事！

## お家全体を快適な温度に保つ 2つのポイント

断熱

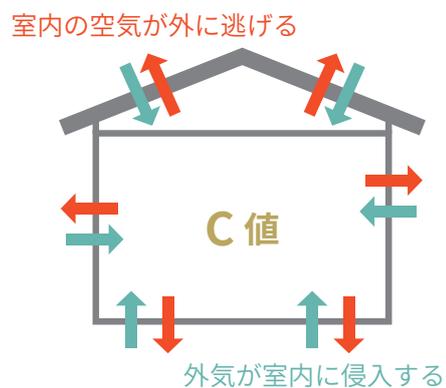
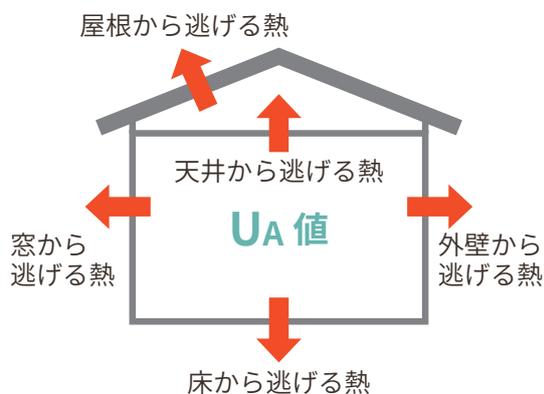
UA値



気密

(すき間)

C値

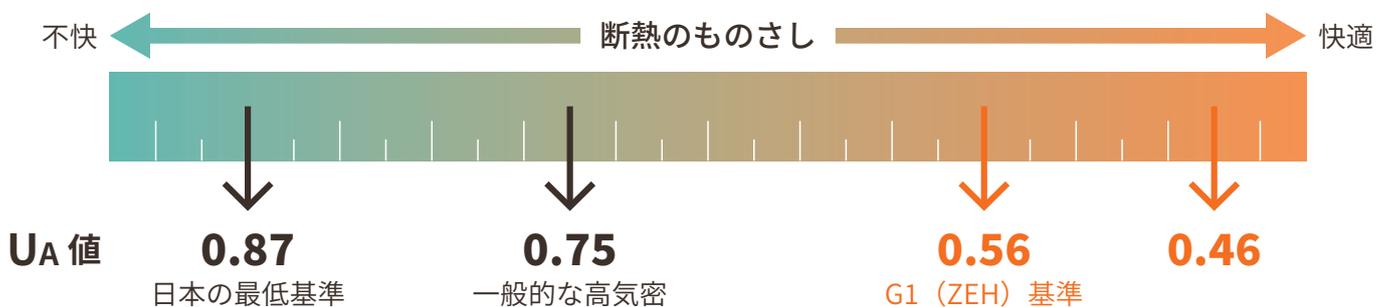
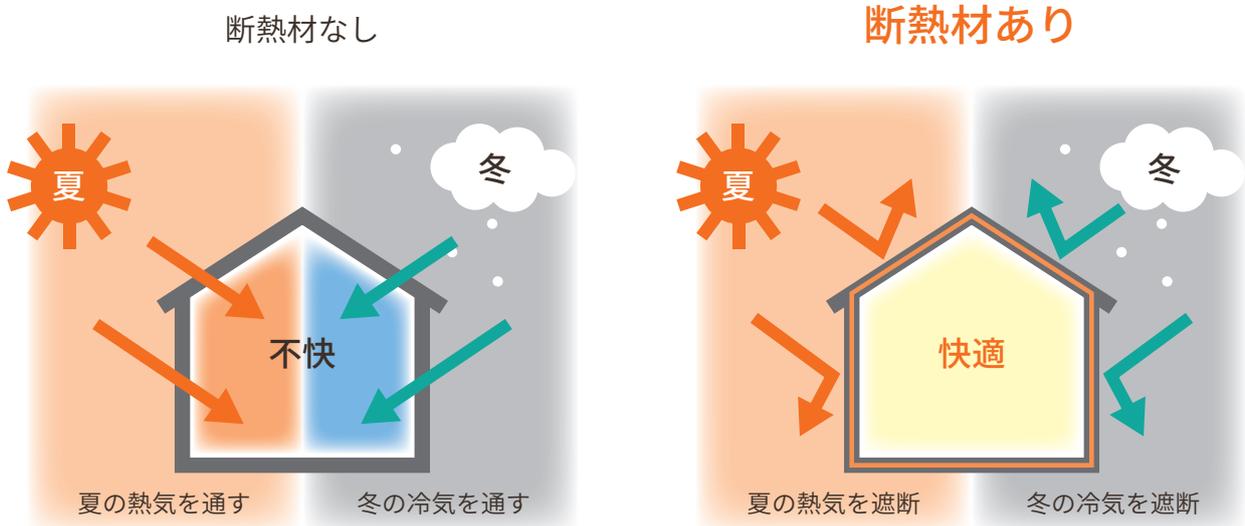


**断熱**と**気密**は数値が低いほど、性能の良いお家です。

※「断熱UA値」「気密C値」の二つは、ざっくり言うとお家から「熱が逃げる量」を数値化したものです。

# 断熱

断熱材でお家を包み、外からの熱や冷気が伝わるのを少なくすることで部屋の中の温度を一定に保つことができます。



# 気密 (すき間)

家の隙間をできるだけ無くすことで、家の中から空気が逃げるのと、外の空気が家の中に入ってくるのを断つことができます。

C 値=5.0



一般住宅

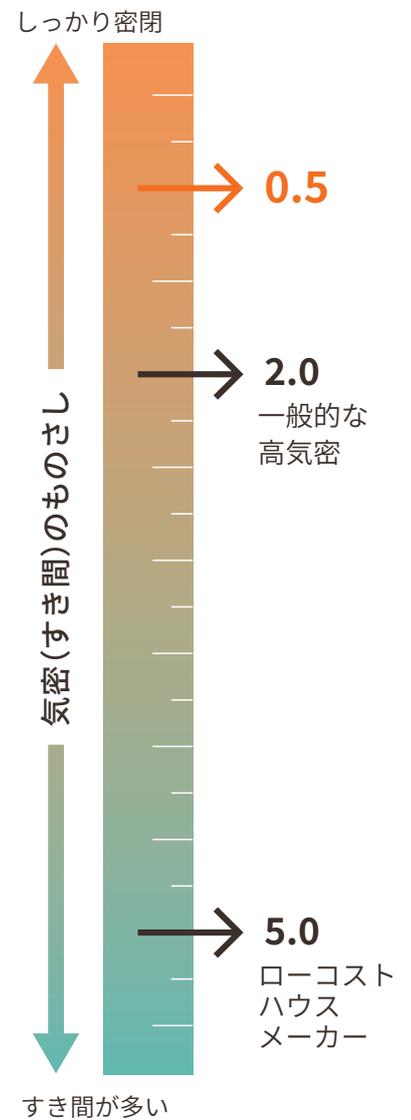
C 値=0.5



気密性能の良い住宅

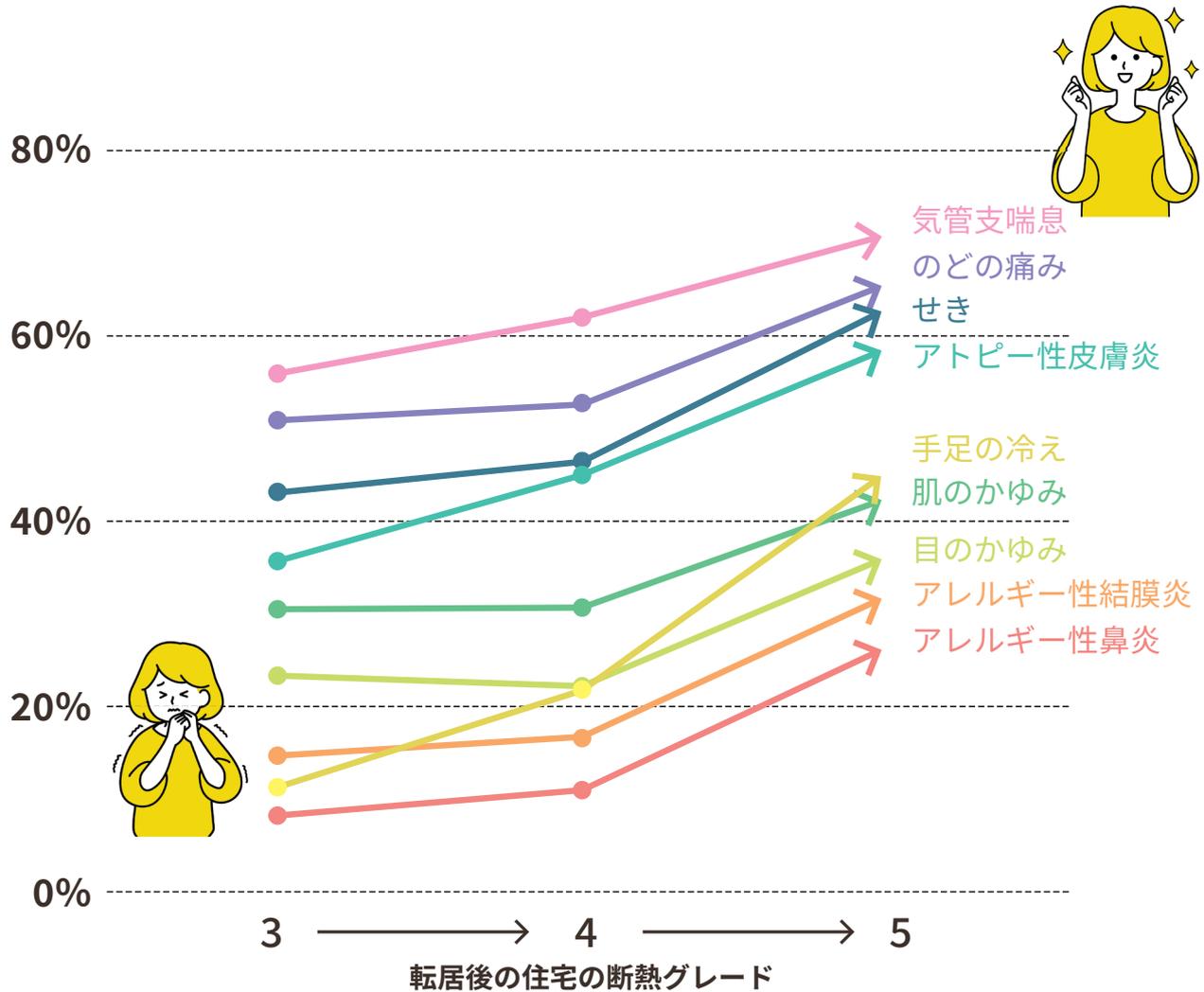


住まいの気密性が低いと、水がどんどん溢れる左の水槽のように、暮らしのエネルギーのムダが多く、光熱費が多くかかります。



# 断熱性能 = 健康

しっかり断熱したお家は体も元気になります



住宅の高断熱化による健康改善効果 (出典：近畿大学 建築学部 岩前研究室)

## 断熱材徹底比較表

	高性能グラスウール (16K)	硬質ウレタン (SW) (西浦建築)	吹付けウレタン
断熱性能 熱伝導率(入)	△ 0.038	◎ 0.019	△ 0.034
		2倍 →	← 1.8倍
湿気の通しにくさ 透湿抵抗値	△ 0.000588	◎ 0.020108	△ 0.0028
		約34倍 →	← 約7倍
施工に関して	△ 職人の腕に左右される	◎ 工場で温度湿度を整え制作	△ 職人 天候に左右される
検査に関して	△ 検査測定なしが多い	◎ 気密測定による機械での検査	△ 検査測定なしが多い
コスト	◎ 初期コストを抑えられる	○ 初期コストはかかるが トータルコストは削減	◎ 初期コストを抑えられる
保証	△ 自社保証	◎ メーカー35年無結露保証	△ 自社保証
冬の最低室温 室温が15℃を下回る比率	8℃ 30% 次世代基準	13℃ 15% HEAT20 G2	8 ~ 10℃ 25% ZEH 基準

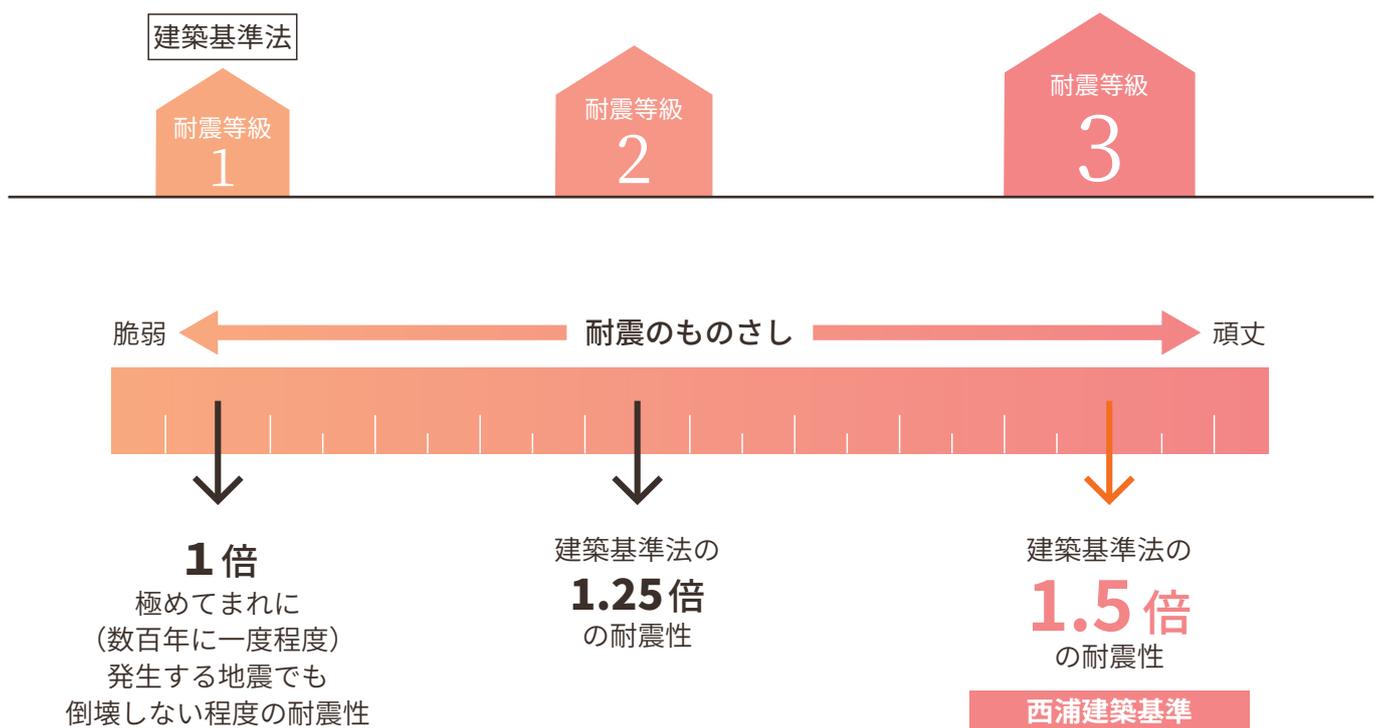
## 2.

### 安心と安全のものさし

みなさまご存知のとおり、  
30年以内に南海トラフで  
大地震が起きる確率は **約70%** です。  
私たち山陰もひとつとはありません。

直下型地震も増え、地震活動期と言われる昨今、  
「地震大国」と言われる日本の家づくりにおいて、  
地震対策は優先すべき重要なポイントです。  
また、よく耳にする「耐震」「制震」「免震」、  
その違いについて理解しておきましょう。

## 耐震性能の等級



## 地震の揺れに耐える **耐震**

## 地震の揺れに吸収する **制震**

## 地震の揺れに伝えない **免震**



耐力壁を増やしたり、柱や梁の接合部を強化して、建物を丈夫にすることで、地震の揺れに耐え、建物の倒壊を防ぐ、地震対策の基本となる工法。

### 西浦建築基準

西浦建築は長期優良住宅認定の「耐震等級3」を全棟標準としています。

(地域によっては耐震等級2となる場合があります)

耐震構造に加え制震テープを使用。住宅の揺れを最大80%低減。制震テープを全体にバランスよく配置し、住宅丸ごとダンパーにしているからこそなせる業です。

### 西浦建築基準

西浦建築では「スーパーウォール制震テープ」の施工などで、制震を実現しています。

建物の基礎と土台の間に免震装置（可動体）を入れて建物と地盤を切り離し、地震の振動を建物に伝えにくくする工法。コストが高くなるのが課題。



有限会社 西浦建築  
兵庫県美方郡新温泉町対田107番地

T 0796-82-1581  
M nishiurakenchiku@maia.eonet.ne.jp  
<http://nishiurakenchiku.com/>

